



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野路 國夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 浦野 邦子

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 平成23年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	985,867	14.7	132,949	27.9	130,243	30.1	94,675	48.5
23年3月期第2四半期	859,763	33.1	103,912	425.2	100,111	442.5	63,764	677.8

(注)四半期包括利益 24年3月期第2四半期 35,328百万円 (94.4%) 23年3月期第2四半期 18,175百万円 (104.2%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	97.82	97.74
23年3月期第2四半期	65.89	65.85

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	2,145,195	977,905	938,814	43.8	970.21
23年3月期	2,149,137	972,680	923,843	43.0	954.48

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
24年3月期	—	21.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	11.2	282,000	26.5	276,000	25.6	186,000	23.4	192.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社(社名) 、除外 1社(社名) コマツユーティリティ(株)
(詳細は、添付資料6ページ2. その他の情報 をご覧ください。)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	998,744,060 株	23年3月期	998,744,060 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	31,107,705 株	23年3月期	30,841,419 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	967,852,046 株	23年3月期2Q	967,794,257 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）平成 24 年 3 月期第 2 四半期（3 ヶ月）の連結業績（平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3 ヶ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	491,690	19.2	64,580	29.6	61,802	23.6	38,969	17.8
23 年 3 月期第 2 四半期	412,623	26.8	49,837	332.9	50,007	414.3	33,067	862.6

	1 株 当 たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 2 四半期	40.27	40.23
23 年 3 月期第 2 四半期	34.17	34.15

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 6
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 6
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 連結財務諸表等	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書	P. 9
（3）四半期連結純資産計算書	P. 11
（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
（5）継続企業の前提に関する注記	P. 13
（6）セグメント情報	P. 13
（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2013 年 3 月期をゴールとする、3 カ年の中期経営計画「Global Teamwork for Tomorrow」を掲げ、①製品・部品の ICT（情報通信技術）化の推進、②環境・安全性能の更なる進化、③「戦略市場」における販売・サービス体制の拡充、④現場力の強化による継続的な改善の推進、を重点項目として活動しています。

本中期経営計画の 2 年目にあたる 2012 年 3 月期の第 2 四半期（2011 年 4 月 1 日から 2011 年 9 月 30 日まで）において、建設機械・車両部門の需要は、中国では減少したものの、他の「戦略市場」ならびに「伝統市場」である日本、北米、欧州で、前年同期を上回り、鉱山機械分野では特に好調に推移しました。コマツグループにおいては、本年 3 月に発生した東日本大震災からいち早く通常の生産体制に復旧させ、需要の増加を的確に捉えたことにより、売上げを伸長しました。産業機械他部門では、ワイヤーソーの受注は前年同期を下回りましたが、既受注分の販売が進みました。また自動車業界の設備投資が回復したため、プレス機械および工作機械の販売も増加しました。これらの結果、連結売上高は 9,858 億円（前年同期比 14.7%増）となりました。利益につきましては、為替がドル、ユーロ、人民元に対し前年同期に比べ円高となったものの、売上げ数量が増加したことに加え、販売価格および製造原価の改善などに継続的に注力した結果、営業利益は 1,329 億円（前年同期比 27.9%増）、売上高営業利益率は前年同期に比べ 1.4 ポイント上回る 13.5%、税引前四半期純利益は 1,302 億円（前年同期比 30.1%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は 946 億円（前年同期比 48.5%増）と、それぞれ前年同期を上回りました。

なお、今夏の日本の電力不足に対しては、各工場が省エネ活動に取り組み、生産量を落とすことなくピーク電力使用量を積極的に削減しました。

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて 2011 年 4 月から 9 月までの 6 カ月間の累計です。

（金額単位：百万円）

	当第 2 四半期 連結累計期間 [A] 自 2011. 4. 1 至 2011. 9. 30 1ドル = 79 円 1ユーロ = 114 円 1元 = 12.3 円	前第 2 四半期 連結累計期間 [B] 自 2010. 4. 1 至 2010. 9. 30 1ドル = 88 円 1ユーロ = 113 円 1元 = 13.0 円	増減率 % [(A-B)/B]
売上高	985,867	859,763	14.7
営業利益	132,949	103,912	27.9
税引前四半期純利益	130,243	100,111	30.1
当社株主に帰属する四半期純利益	94,675	63,764	48.5

●コマツグループにおける「市場」の位置づけ

伝統市場	日本、北米、欧州
戦略市場	中国、中南米、アジア、オセアニア、アフリカ、中近東、CIS

部門別の概況は以下のとおりです。

部門別売上高

(金額単位:百万円)

	当第 2 四半期 連結累計期間 [A]	前第 2 四半期 連結累計期間 [B]	増減率 % [(A-B)/B]
建設機械・車両	853,674	763,645	11.8
産業機械他	132,193	96,118	37.5
合計	985,867	859,763	14.7

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門では、中国の需要は減少したものの、他の「戦略市場」の需要はアジア地域を中心に堅調に推移し、「伝統市場」である日本、北米、欧州の需要も回復したことから、売上高は 8,536 億円（前年同期比 11.8%増）となりました。特に、鉱山機械分野の売上げは、旺盛な資源・エネルギー需要を背景に、中南米、インドネシアなどを中心に引き続き伸長し、部品・サービス分野の売上げも鉱山機械の配車台数の増加に伴い伸長しました。

当部門においては、昨年 12 月より日本で販売を開始したハイブリッド油圧ショベル「HB205/215LC」の日本以外の地域での市場導入を進めるとともに、新排出ガス規制に対応した商品の販売を、北米および欧州で開始しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高

(金額単位:百万円)

	当第 2 四半期 連結累計期間 [A]	前第 2 四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [A-B]	増減率 % [(A-B)/B]
日本	129,042	117,405	11,637	9.9
米州	217,458	190,252	27,206	14.3
欧州・CIS	99,395	71,746	27,649	38.5
中国	114,295	152,806	△ 38,511	△ 25.2
アジア※・オセアニア	228,184	181,869	46,315	25.5
中近東・アフリカ	65,300	49,567	15,733	31.7
合計	853,674	763,645	90,029	11.8

※日本および中国を除く

<日本>

日本市場は、東日本大震災からの復旧・復興に資する建設機械の需要が、レンタル向けを中心に伸長する中、生産体制を速やかに復旧させ建設機械の供給を円滑に進めたことにより、売上げは前年同期を上回りました。また、今後の震災復興事業の本格化に伴う建設機械の稼働の増加に備え、東北地方におけるサービス体制の拡充にも努めました。

レンタル事業に関しては、顧客サービスの更なる充実と効率化を図るべく、本年7月に当社がレンタル子会社を吸収合併し、同社が保有するレンタル用資産を当社が承継するとともに、新設のレンタル会社（コマツレンタル（株））をレンタルオペレーションの機能に特化させました。

<米州>

北米では、住宅建設向けの需要の回復は依然として鈍いものの、レンタル、鉱山向けの需要は堅調に推移しました。新排出ガス規制に対応した商品およびハイブリッド油圧ショベルの販売を開始しました。また、前年より引き続き「代理店在庫ゼロ活動」に取り組みました。中南米では、最大市場であるブラジルにおいて金融引き締めの影響や公共工事の着工遅れなどにより土木建設向けの需要が低調となったものの、鉱山向けの需要は好調に推移しました。これらの結果、米州の売上げは前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、財政不安による景気減速の懸念が高まりつつあるものの、主要市場であるドイツ、フランスで需要が伸長したことに加え、部品の販売拡大などに努めた結果、売上げは前年同期を上回りました。また新排出ガス規制に対応した商品およびハイブリッド油圧ショベルの販売を開始しました。

CISにおいては、石炭や金などの鉱山開発向けおよび石油・ガスなどのエネルギー分野を中心に需要が大きく伸長し、売上げは前年同期を上回りました。昨年6月に設立したコマツロシア製造（有）において油圧ショベルに続き、主に鉱山で使用される大型ダンプトラック HD785 の生産を開始しました。

<中国>

中国では、政府による金融引き締め政策が影響し、土木建設分野を中心に需要が減少したため、売上げは前年同期を下回りました。日本、北米、欧州に続いて本年9月に中国でも協力企業（サプライヤー）を組織化して「中国みどり会」を発足しました。協力企業と一体でQCD（品質、コスト、納期）の改善を推進し、中国におけるモノづくり競争力をさらに向上させていきます。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場であるインドネシアにおいて鉱山向けの需要が引き続き伸長するとともに、土木建設・農業・林業分野も堅調に推移し、インド、マレーシアなどでも需要が堅調に推移しました。また、オーストラリアでも、鉱山向けの需要が好調に推移しました。これらの市場環境を背景として、アジア・オセアニアの売上げは前年同期を上回りました。アジア・オセアニア地域では本年5月よりハイブリッド油圧ショベルの販売を開始するとともに、アジアでは引き続き「KOMTRAX」を標準装備した建設機械の導入地域の拡大に注力しました。

＜中近東・アフリカ＞

中近東・アフリカでは、一部地域で政情が不安定な状況が続いているものの、アフリカの鉱山向けを中心に需要が好調に推移したことなどから、売上げは前年同期を上回りました。鉱山開発やインフラ整備向けの需要により、市場は引き続き拡大する見通しであり、南アフリカで「KOMTRAX」を標準装備した建設機械を導入するとともに、西アフリカ市場の成長を睨んで本年 4 月にダカール事務所を開所するなど販売・プロダクトサポート体制の強化に引き続き取り組みました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、中国の金融引き締めや欧州での太陽電池の補助金削減の影響を受け、太陽電池の素材であるシリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの受注は前年同期に比べて減少したものの、既受注分の出荷が進んだことにより、売上げは前年同期を上回りました。自動車業界の設備投資も回復に向かい、プレス機械および工作機械の売上げも伸長しました。また、前四半期末に完全子会社化したギガフォトン（株）について、当第 2 四半期より売上げ・利益を連結しています。これらの結果、当部門の売上高は 1,321 億円（前年同期比 37.5%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前期末比ほぼ横ばいの 2 兆 1,451 億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ 289 億円増の 5,730 億円となりました。株主資本は、前期末に比べ 149 億円増の 9,388 億円となり、株主資本比率は前期末に比べ 0.8 ポイント増の 43.8%となりました。ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の 0.50 に対して、0.52 となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

＜キャッシュ・フロー＞

当第 2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加などにより、前年同期の 1,028 億円の収入から 625 億円減少し、402 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入ならびに子会社及び持分法適用会社株式の取得などにより、616 億円の支出（前年同期比 261 億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期債務による調達および短期債務の増加により、275 億円の収入（前年同期比 818 億円の収入増）となりました。これらに為替相場変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末に比べ 5 億円増加し、848 億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

建設機械・車両部門においては、中国における需要が減少したものの、他の「戦略市場」ならびに「伝統市場」では引き続き好調を維持しており、販売量に関しては、期初に想定した水準を達成することが見込まれます。しかし、為替がドル、ユーロ、人民元に対し円高で推移していることに加え、

産業機械他部門において中国の金融引締めの影響などによりワイヤーソーの販売が減少することが見込まれることから、本年 4 月に公表しました通期売上予想値を下回る見通しとなりました。利益につきましても、販売価格や製造原価の改善などに注力し為替によるマイナスの影響を軽減するものの、前回予想値を下回る見通しとなりました。

なお、本業績予想値の前提となる第 3 四半期以降の為替レートは、1 米ドル=77 円、1 ユーロ=106 円、1 人民元=12.1 円です。

個別業績予想に関しては、本年 4 月に公表しました業績予想値から変更はありません。

2012 年 3 月期（通期）の連結業績の見通し

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	税 引 前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	2,150,000	305,000	300,000	200,000
今回修正予想 (B)	2,050,000	282,000	276,000	186,000
増 減 額 (B-A)	△100,000	△23,000	△24,000	△14,000
増 減 率 (%)	△4.7%	△7.5%	△8.0%	△7.0%
<参考>前期実績 (2011 年 3 月期)	1,843,127	222,929	219,809	150,752

注：前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

当第 2 四半期連結累計期間において、コマツユーティリティ（株）は当社と合併したことにより連結除外となりました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2011年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2011年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	84,224		84,805	
定期預金	734		1,458	
受取手形及び売掛金	532,757		487,812	
たな卸資産	473,876		522,812	
繰延税金及びその他の流動資産	152,781		161,377	
流動資産合計	1,244,372	57.9	1,258,264	58.6
長期売上債権	183,270	8.5	179,559	8.4
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	25,115		19,418	
投資有価証券	60,855		43,189	
その他	3,124		3,263	
投資合計	89,094	4.1	65,870	3.1
有形固定資産	508,387	23.7	508,186	23.7
営業権	29,321	1.4	30,452	1.4
その他の無形固定資産	53,971	2.5	59,393	2.8
繰延税金及びその他の資産	40,722	1.9	43,471	2.0
資産合計	2,149,137	100.0	2,145,195	100.0

区分	前連結会計年度末 (2011年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2011年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	130,308		160,232	
長期債務				
－1年以内期限到来分	122,608		142,112	
支払手形及び買掛金	308,975		281,280	
未払法人税等	38,829		22,372	
繰延税金及びその他の流動負債	199,268		199,969	
流動負債合計	799,988	37.2	805,965	37.6
固定負債				
長期債務	291,152		270,662	
退職給付債務	48,027		46,613	
繰延税金及びその他の負債	37,290		44,050	
固定負債合計	376,469	17.5	361,325	16.8
負債合計	1,176,457	54.7	1,167,290	54.4
(純資産の部)				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	140,523		140,745	
利益剰余金				
利益準備金	34,494		37,161	
その他の剰余金	847,153		919,792	
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 131,059		△ 190,670	
自己株式	△ 35,138		△ 36,084	
株主資本合計	923,843	43.0	938,814	43.8
非支配持分	48,837	2.3	39,091	1.8
純資産合計	972,680	45.3	977,905	45.6
負債及び純資産合計	2,149,137	100.0	2,145,195	100.0

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2010年4月1日 至 2010年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2011年4月1日 至 2011年9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	859,763	100.0	985,867	100.0
売上原価	629,877	73.3	712,988	72.3
販売費及び一般管理費	124,750	14.5	140,139	14.2
その他の営業収益 (△費用)	△ 1,224	△ 0.1	209	0.0
営業利益	103,912	12.1	132,949	13.5
その他の収益 (△費用)	△ 3,801		△ 2,706	
受取利息及び配当金	2,329	0.3	2,085	0.2
支払利息	△ 3,289	△ 0.4	△ 3,655	△ 0.4
その他 (純額)	△ 2,841	△ 0.3	△ 1,136	△ 0.1
税引前四半期純利益	100,111	11.6	130,243	13.2
法人税等	33,507	3.9	32,262	3.3
持分法投資損益調整前四半期純利益	66,604	7.7	97,981	9.9
持分法投資損益	1,198	0.1	1,034	0.1
四半期純利益	67,802	7.9	99,015	10.0
非支配持分損益	△ 4,038	△ 0.5	△ 4,340	△ 0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	63,764	7.4	94,675	9.6
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	65.89 円		97.82 円	
希薄化後	65.85 円		97.74 円	

(第2四半期連結会計期間)

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2010年7月1日 至 2010年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2011年7月1日 至 2011年9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	412,623	100.0	491,690	100.0
売上原価	300,021	72.7	356,351	72.5
販売費及び一般管理費	61,803	15.0	70,711	14.4
その他の営業収益 (△費用)	△ 962	△ 0.2	△ 48	△ 0.0
営業利益	49,837	12.1	64,580	13.1
その他の収益 (△費用)	170		△ 2,778	
受取利息及び配当金	1,308	0.3	790	0.2
支払利息	△ 1,620	△ 0.4	△ 1,767	△ 0.4
その他 (純額)	482	0.1	△ 1,801	△ 0.4
税引前四半期純利益	50,007	12.1	61,802	12.6
法人税等	16,041	3.9	21,126	4.3
持分法投資損益調整前四半期純利益	33,966	8.2	40,676	8.3
持分法投資損益	557	0.1	453	0.1
四半期純利益	34,523	8.4	41,129	8.4
非支配持分損益	△ 1,456	△ 0.4	△ 2,160	△ 0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	33,067	8.0	38,969	7.9
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	34.17 円		40.27 円	
希薄化後	34.15 円		40.23 円	

(3) 四半期連結純資産計算書

前第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

(金額単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前々期末残高(2010年3月31日現在)	67,870	140,421	31,983	724,090	△ 95,634	△ 34,755	833,975	42,824	876,799
現金配当				△ 7,749			△ 7,749	△ 830	△ 8,579
利益準備金への振替			743	△ 743			-		-
持分変動及びその他							-	317	317
包括利益(△損失)									
四半期純利益				63,764			63,764	4,038	67,802
その他の包括利益(△損失) 一税控除後									
外貨換算調整勘定					△ 44,877		△ 44,877	△ 3,087	△ 47,964
未実現有価証券評価損益					△ 2,398		△ 2,398	-	△ 2,398
年金債務調整勘定					77		77	-	77
未実現デリバティブ評価損益					658		658	-	658
四半期包括利益							17,224	951	18,175
新株予約権の付与及び行使		55					55		55
自己株式の購入等						△ 551	△ 551		△ 551
自己株式の売却等						23	23		23
前第2四半期末残高(2010年9月30日現在)	67,870	140,476	32,726	779,362	△ 142,174	△ 35,283	842,977	43,262	886,239

当第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

(金額単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前期末残高(2011年3月31日現在)	67,870	140,523	34,494	847,153	△ 131,059	△ 35,138	923,843	48,837	972,680
現金配当				△ 19,369			△ 19,369	△ 5,921	△ 25,290
利益準備金への振替			2,667	△ 2,667			-		-
持分変動及びその他		△ 146					△ 146	△ 4,089	△ 4,235
包括利益(△損失)									
四半期純利益				94,675			94,675	4,340	99,015
その他の包括利益(△損失) 一税控除後									
外貨換算調整勘定					△ 51,813		△ 51,813	△ 3,923	△ 55,736
未実現有価証券評価損益					△ 8,196		△ 8,196	-	△ 8,196
年金債務調整勘定					△ 435		△ 435	-	△ 435
未実現デリバティブ評価損益					833		833	△ 153	680
四半期包括利益							35,064	264	35,328
新株予約権の付与及び行使		248					248		248
自己株式の購入等						△ 1,136	△ 1,136		△ 1,136
自己株式の売却等		120				190	310		310
当第2四半期末残高(2011年9月30日現在)	67,870	140,745	37,161	919,792	△ 190,670	△ 36,084	938,814	39,091	977,905

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 連結累計期間 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	67,802	99,015
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	43,432	43,681
法人税等繰延分	15,621	△ 2,521
有価証券及び投資有価証券売却損益	90	△ 91
有形固定資産売却損益	△ 1,160	△ 209
固定資産廃却損	634	1,006
未払退職金及び退職給付債務の増減	△ 3,176	357
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	△ 11,005	17,663
たな卸資産の増減	△ 42,960	△ 82,021
支払手形及び買掛金の増減	47,870	△ 27,196
未払法人税等の増減	△ 6,067	△ 15,055
その他(純額)	△ 8,253	5,644
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	102,828	40,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 42,482	△ 58,984
固定資産の売却	5,637	4,910
売却可能投資有価証券の売却	22	414
売却可能投資有価証券等の購入	△ 520	△ 1,124
子会社及び持分法適用会社株式の取得(現金取得額との純額)	654	△ 7,786
貸付金の回収	1,290	1,730
貸付金の貸付	△ 576	△ 160
定期預金の増減	443	△ 664
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 35,532	△ 61,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達	31,266	80,478
長期債務の支払	△ 24,059	△ 29,609
短期債務の増減(純額)	△ 34,023	43,316
キャピタルリース債務の減少	△ 18,791	△ 38,142
自己株式の売却及び取得(純額)	10	△ 853
配当金支払	△ 7,749	△ 19,369
その他(純額)	△ 928	△ 8,266
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 54,274	27,555
為替相場変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 4,804	△ 5,583
現金及び現金同等物純増減額	8,218	581
現金及び現金同等物期首残高	82,429	84,224
現金及び現金同等物四半期末残高	90,647	84,805

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	763,645	96,118	859,763	—	859,763
(2) セグメント間の内部売上高	991	5,431	6,422	△ 6,422	—
計	764,636	101,549	866,185	△ 6,422	859,763
セグメント利益	102,302	6,133	108,435	△ 3,299	105,136

当第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	853,674	132,193	985,867	—	985,867
(2) セグメント間の内部売上高	2,734	4,204	6,938	△ 6,938	—
計	856,408	136,397	992,805	△ 6,938	985,867
セグメント利益	120,154	15,127	135,281	△ 2,541	132,740

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

(百万円)

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・ オセアニア	中近東・ アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	163,119	196,587	72,138	186,127	192,186	49,606	859,763
当第2四半期連結累計期間	191,433	224,308	100,570	159,875	244,372	65,309	985,867

※ 日本及び中国除く

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 2010年7月1日 至 2010年9月30日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	358,439	54,184	412,623	—	412,623
(2) セグメント間の内部売上高	553	3,128	3,681	△ 3,681	—
計	358,992	57,312	416,304	△ 3,681	412,623
セグメント利益	48,037	4,098	52,135	△ 1,336	50,799

当第2四半期連結会計期間（自 2011年7月1日 至 2011年9月30日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	418,350	73,340	491,690	—	491,690
(2) セグメント間の内部売上高	1,428	2,488	3,916	△ 3,916	—
計	419,778	75,828	495,606	△ 3,916	491,690
セグメント利益	59,268	6,283	65,551	△ 923	64,628

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結会計期間（自 2010年7月1日 至 2010年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自 2011年7月1日 至 2011年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・ オセアニア	中近東・ アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	91,694	95,011	32,386	71,235	94,167	28,130	412,623
当第2四半期連結会計期間	107,502	115,246	46,924	57,971	128,339	35,708	491,690

※ 日本及び中国除く

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。